

トビウオ通信 (H20 第 1 号)

http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/ (TEL 0855-22-1720)

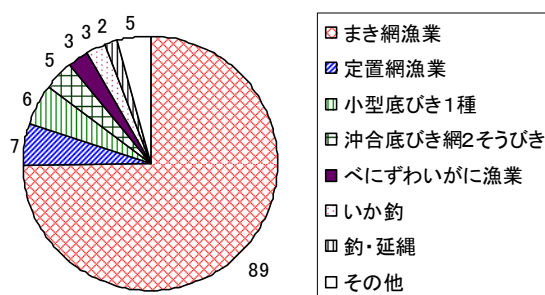
《平成 19 年(2007 年)の島根県漁業の動向》

県の漁獲管理システム (TAC システム) により集計した県下漁業協同組合の漁獲統計資料 (属人) から、平成 19 年 (1~12 月) の島根県漁業の動向を取りまとめました ※ (海面漁業・漁船漁業のみ)。

全体 … 主要漁業が全般的に好調で、平成 13 年以降では最高の漁獲

平成 19 年の島根県下の総漁獲量は約 11 万 9 千トン、総生産額は約 208 億円でした (図 1~4、表 1)。平成 19 年は漁獲量・金額とも前年より大きく伸び、平成 13 年以降では漁獲量・生産金額共に最高となりました。漁獲金額が 200 億円を超えたのは 7 年ぶりとなります。漁獲増の最も大きな要因は、漁獲量の 3/4 を占めるまき網漁業の漁獲量が平年 (過去 5 年の平均値、以下同様) の約 1.3 倍と好調だったことです。さらに、小型底びき 1 種・定置網・釣りなどの主要漁業の漁獲も平年をかなり上回り、全体に漁獲量・生産額を押し上げる形になりました。

平成 19 年 漁獲量 (単位: 千トン)
(総漁獲量 119 千トン)



平成 19 年 生産額 (単位: 億円)
(総生産額 208 億円)

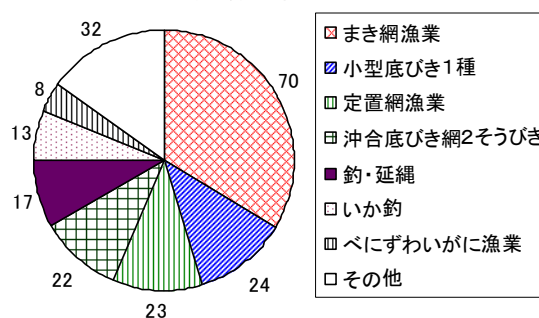


図 1 平成 19 年の島根県の漁業種別漁獲量 (全漁協)

図 2 平成 19 年の島根県の漁業種別生産額 (全漁協)

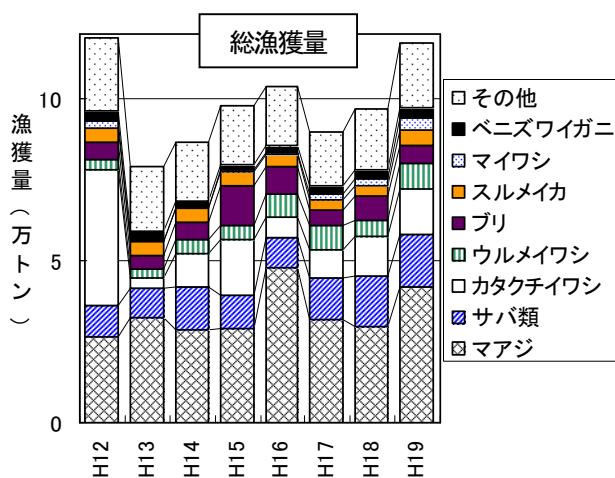


図 3 島根県の魚種別漁獲量の推移 (主要支所)

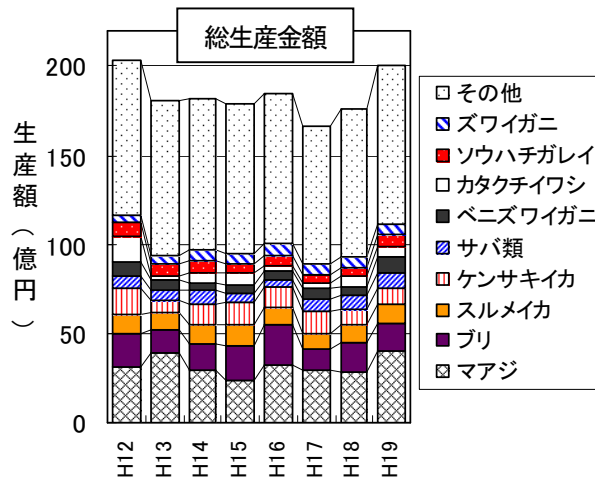


図 4 島根県の魚種別生産額の推移 (主要支所)

※ 平成 19 年の単年の漁獲量・金額は県下全漁協の集計値ですが、生産量推移・平年比などは松江市・湖陵・多伎・温泉津・江津・知夫を除いた JF しまね主要支所および海士町漁協のデータを元に算出しています。また、実質的に県外を根拠地としている一部の大中型まき網・沖合底びき・ベニズワイかご漁船のデータは統計に入っていません。

中型まき網漁業 … 隠岐海域のマアジ・サバ・イ

ワシ類が好調で大幅増

まき網漁業の中核をなす中型まき網漁業は、主漁獲物のマアジが平年比 123%と好調で、サバ類 (同 142%)・カタクチ (同 142%)・ウルメ (同 134%)・マイワシ (同 458%) など軒並み前年を上回ったため漁獲量は大きく伸び、生産額も増えて 60 億円を超えました。ただし、漁獲量が増加したのはほとんどが隠岐海域での漁獲分です。

石見部では、主要漁獲物のマアジの漁獲が低調だったことから漁獲量は平年の 8 割でしたが、マアジの漁獲サイズが大きく単価が高かったため生産額では前年・平年を上回りました (表 1)。

小型底びき網 1 種漁業 … 最近 10 年間では最高の漁獲量

小型底びき網 1 種漁業 (かけまわし) の漁獲量・生産額は、平成 19 年は 2 年連続で増加となり、最近 10 年間では最高の漁獲量で生産額でも 2 番目となりました。好調の要因は主要魚種であるソウハチ・アンコウ・キダイなどの漁獲が増加したことや、操業日数が多かったこと、操業の障害となる大型クラゲが比較的少なかったことなどが要因です。

また、全体からの割合としてはわずかですが、出雲部では漁獲が大きく伸び、また隠岐では 1 隻新たな着業がありました。

沖合底びき網漁業 … 前年をわずかに上回る

沖合底びき網はソウハチ、アンコウ、アナゴ・ハモ類、アカガレイ、タコ類などの漁獲が増加したため、総漁獲量・生産額共に前年をわずかに上回りました (表 1)。

沖合底びき網は統数の減少などもあり平成 13 年以降生産額が毎年減少していましたが、平成 19 年は久々に生産額が上向きました。

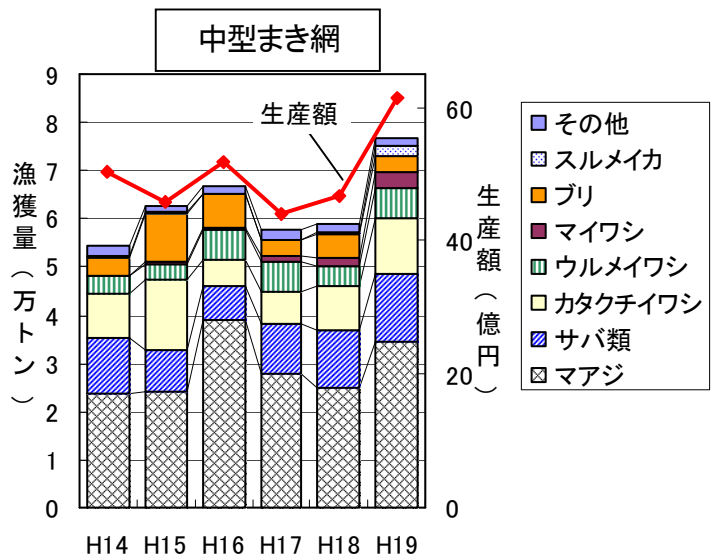


図 5 中型まき網漁業の魚種別漁獲量・総生産額

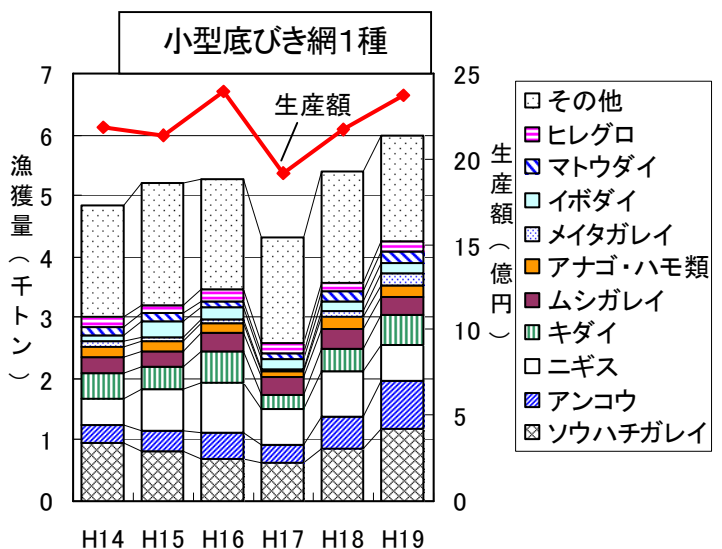


図 6 小型底びき網 1 種の魚種別漁獲量・総生産額 (主要支所)

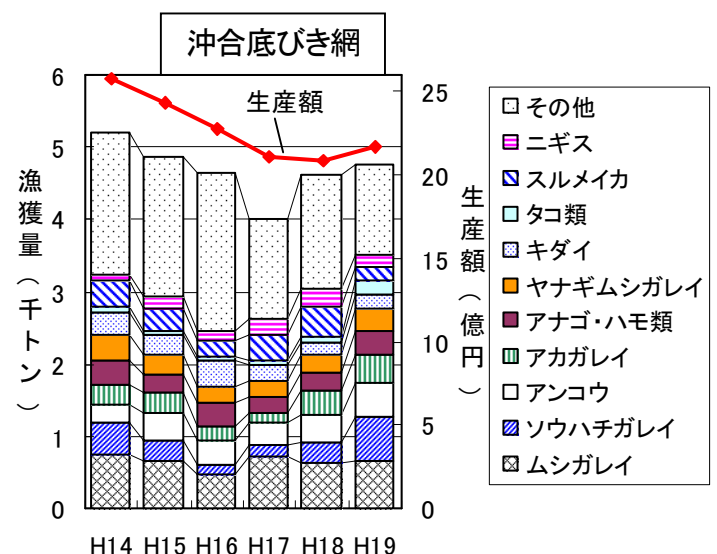


図 7 沖合底びき網 2 艘の魚種別漁獲量と総生産額

定置網漁業 …ブリやマアジが好調で平年を上

回る

定置網漁業（大型定置網・小型定置網）はマアジ（漁獲量平年比146%）、ブリ（同128%）、スルメイカ（同172%）、サワラ（同227%）など主要な魚種が全般に好調で、平成18年に続いて平年をかなり上回る漁獲となりました。地区別では出雲地区ではブリ・サワラ・スルメイカ、隠岐ではマアジ・ブリがそれぞれ好調で、石見地区ではマアジの漁獲量は平年の7割でしたがブリが多く獲れています。

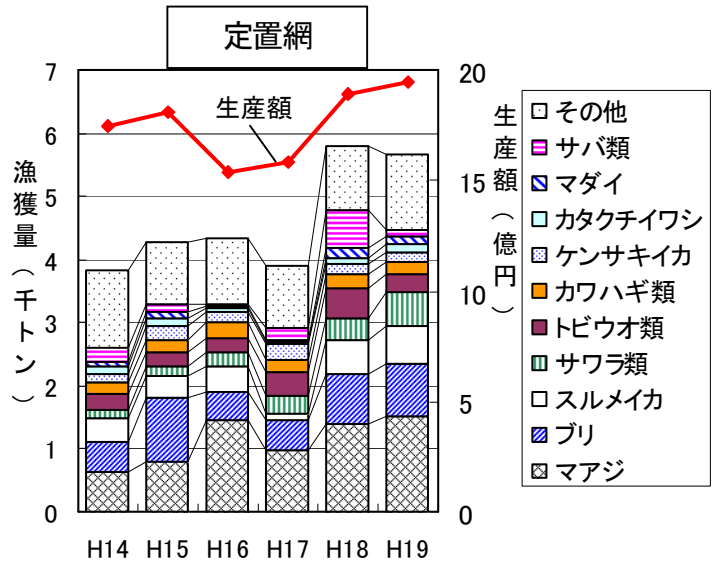


図8 定置網漁業の魚種別漁獲量と総生産額（主要支所）

釣り・延縄 …ヨコワなどが好調で漁獲量・金額

共に増

釣り・延縄による漁獲量は漁獲量・生産額共に前年を上回りました。平成19年はクロマグロ（ヨコワ）が釣りで多く漁獲されたため（漁獲量で平年比386%）、これがそのまま全体の漁獲量・生産額の増加に反映されています。その他、サワラやアマダイの漁獲も増加していますが、一方でメダイのように減少が目立つ（漁獲量で平年比51%）魚種もあります。

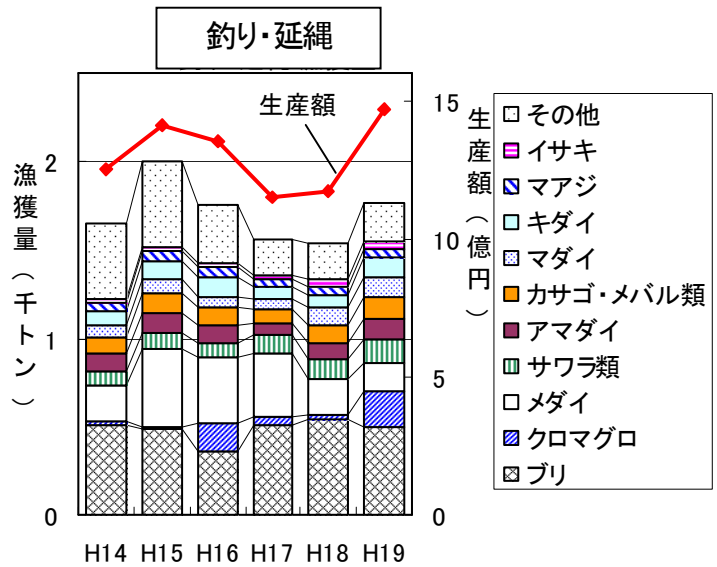


図9 釣り・延縄漁業の魚種別漁獲量と総生産額（主要支所）

イカ釣り …スルメイカは依然低調

イカ釣り漁業（5トン未満・小型イカ釣り5～30トン・中型イカ釣り）による漁獲量は漁獲量・生産額共に前年を上回りましたが、主な漁獲物であるスルメイカの漁獲量がここ数年低迷しているため、平年比では漁獲量で79%、生産額で84%と依然低水準で推移しています。

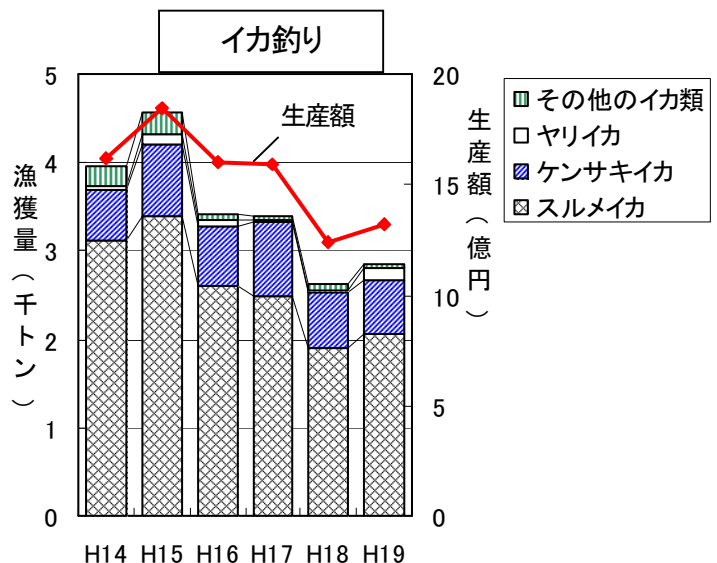


図10 イカ釣り漁業の魚種別漁獲量と総生産額（主要支所）

※ 各漁業の概要やトビウオ通信バックナンバーについては島根県水産技術センターホームページをご覧ください。

(<http://www2.pref.shimane.lg.jp/suigi/>)

表1 平成19年の県内主要漁業の海区別漁獲量・生産額

漁業種類	海区	漁獲量※			生産金額※			1ヶ統あたり漁獲量※			1ヶ統あたり生産金額※		
		量(トン)	前年比	前年比	金額(百万円)	前年比	前年比	量(トン)	前年比	漁模様	金額(百万円)	前年比	漁模様
すべての漁業種類	全県	118,791	123%	121%	20,831	113%	114%	—	—	—	—	—	—
中型まき網	石見	5,977	81%	95%	997	109%	139%	1,195	86%	▲	199	115%	◎
	隠岐	70,618	135%	134%	5,138	134%	130%	8,827	165%	◎	642	166%	◎
小型底びき網1種	石見	5,298	116%	108%	2,067	105%	106%	104	119%	◎	41	109%	◎
沖合底びき網2そう曳き	出雲・石見	4,762	102%	103%	2,172	94%	104%	680	136%	◎	310	125%	◎
定置網 ※※	出雲	3,919	134%	92%	1,484	112%	100%	258	142%	◎	95	117%	◎
	石見	1,142	84%	90%	431	100%	117%	152	92%	▲	54	112%	◎
	隠岐	1,446	148%	120%	378	130%	104%	367	131%	◎	105	125%	◎
釣り・延縄	出雲	1,012	113%	122%	726	117%	139%	—	—	—	—	—	—
	石見	672	95%	109%	544	102%	110%	—	—	—	—	—	—
	隠岐	411	93%	113%	450	122%	126%	—	—	—	—	—	—
イカ釣り (5トン以上30トン未満)	出雲	1,408	73%	111%	655	80%	105%	—	—	—	—	—	—
	石見	326	92%	109%	233	89%	98%	—	—	—	—	—	—
	隠岐	1,027	84%	99%	363	85%	105%	—	—	—	—	—	—

※ 漁獲量・生産金額は全県漁協が対象。前年比・前年比は松江市・湖陵・多伎・温泉津・江津・知夫を除いたJFLまね主要支所および海士町漁協の数値を元に算出。

前年比：過去5年の平均値との比較 漁模様：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

※※ 漁獲量・生産金額は大型定置・小型定置の合計値。1ヶ統あたり漁獲量・生産金額は平成19年現在操業中の大型定置のみを対象に算出。